

## 令和2(2020)年度 重点課題に対する活動計画

該当計画

第二次健康増進計画：健康  
第2次歯科保健計画：歯科  
第3次食育推進計画：食育

### 重点課題① 青壮年期への働きかけの強化

取組名 (事業名)	取組(予定)内容	該当計画		
		健康	歯科	食育
母子健康手帳交付時の健康相談	母子健康手帳交付時の健康相談に、一日3食と、バランス食について啓発する。 妊娠をきっかけとして、朝食を欠食していた方も3食摂る習慣に行動変容することをめざす。	○	○	○
出産前のパパママセミナー (1回目、2回目)	プレパパ・ママに食生活の基本(バランス食、甘味飲料、塩分量等)を管理栄養士が保健指導を行う。個別の食事記録をもとに、栄養士からのアドバイスを適正な食習慣をめざす。	○	○	○
1歳6か月児健診	保護者向けに子宮頸がん検診の受診勧奨チラシを配付。集団指導で周知を行う。	○		
園だより・食育だより (保育園・幼稚園)	歯や口腔の健康や朝食の摂取等、体の健康を保つための生活習慣や食事に関する記事を掲載し、家庭全体で取り組むことの重要性を啓発する。	○	○	○
妊娠期・子育て期の保護者へのこころの健康の啓発	母子健康手帳交付時に、産後うつ、相談窓口に関するチラシを配布する。また、すくすくネットを活用し、周知する。	○		
歯周病検診 (口腔健診)	若い世代にも受診していただけるよう、これまで40歳からだった対象者を20歳からとする。また、検診のきっかけとなるよう、20歳30歳40歳50歳60歳の節目年齢の方に対し、無料クーポンの送付を行う。	○	○	
受動喫煙に関する啓発	受動喫煙対策強化に向けて広報・ホームページでの啓発に加え、イベントや保健事業での啓発の機会を増やす。	○		
からだスッキリ講座	企業向けの出前講座。食事や運動、口腔の健康等の生活習慣病予防や健康診断の結果の見方等の内容で個人の健康づくりの実践の動機づけとなる講座を実施する。	○	○	○

取組名 (事業名)	取組(予定)内容	該当計画		
		健康	歯科	食育
企業・事業所向け健康づくり宣言事業	職場内のチームで一人ひとりが自分の健康づくりの目標を立てて宣言し、目標の達成を目指す事業。市内の企業・事業所に参加を募集する。	○	○	○
企業・事業所へ健康づくりの啓発	企業・事業所等、職域関係機関が開催するイベントに参加し、健康づくりの啓発を行う。	○	○	○
広報かしわざきの特集記事の掲載	年5回、健康づくり(歯の健康、がん、動脈硬化、運動、アルコール、睡眠)に関する記事を掲載する。	○	○	○
健康づくりに関する物品の貸出し	地域住民や関係機関、企業に対し、健康づくりに役立つ媒体等の活用を広く周知し、市民の健康づくりのきっかけとする。	○	○	○
ゲートキーパー養成研修	市内事業所や企業に対して研修の必要性を伝え、要望に応じてゲートキーパー養成研修を開催する。	○		
ひきこもり支援センター相談業務	ひきこもり支援・自殺対策の総合窓口として、体制を整え、支援を行う。	○		
青壮年期向けの運動の情報提供	リフレッシュ体操やメタボらず体操等をホームページで公開する。	○		
骨筋ポイント制度の対象拡大	コツコツ貯筋体操に参加するとポイントが付与される骨筋ポイント制度の対象を、65歳以上だけでなく、64歳以下にも拡大する。	○		
からだ年齢測定会	コツコツ貯筋体操センターにおいて、一般市民を対象に、脳・血管年齢や歩行姿勢・口腔測定を実施し、介護予防の働きかけを行う。	○	○	
特定健診(一般健診)	国民健康保険加入者を対象とし、40～74歳に実施。39歳以下は一般健診として実施。特に39～65歳の未受診者に対して、ハガキによる受診勧奨を実施する。また、39歳、40歳、50歳の健診料金を無料とし、受診勧奨を行う。	○		

取組名 (事業名)	取組(予定)内容	該当計画		
		健康	歯科	食育
健診受診者を対象とした特定保健指導、健診結果説明会	特定保健指導は一定の基準で対象となった人に対して生活習慣改善につながるよう保健師・管理栄養士が保健指導を実施する。 結果説明会は集団健診受診者を対象に結果説明や生活習慣に関する保健指導を行う。	○		
がん検診事業	肺、胃、大腸、前立腺、乳、子宮頸がん検診を実施。ホームページに具体的でわかりやすいがん検診の記事を掲載し、周知する。また、健康推進員と協働し、がん予防を周知する。	○		
生活保護世帯に対する健診受診勧奨、保健指導	生活保護全世帯(施設入所を除く)に健診(+がん検診)の受診手続きを記載した用紙を送付し健診の受診勧奨を行う。 体調不良があるにも関わらず、医療機関を受診しようとならない者や受診を中断している者等に対し、保健師がケースワーカーと同行訪問して受診勧奨を行う。また、喫煙者・飲酒者、頻回重複受診者に対しては、保健指導および必要な支援へつなげる。	○		
市民スポーツ大会	体力測定会、スポーツ交流会など、青壮年期が参加することで健康につながる種目を実施している。青壮年期の参加意欲が湧く周知方法を検討し、参加者の拡大を図る。	○		
ニュースポーツ体験フェア(中止)	ニュースポーツ体験を機に、障害者の健康の保持増進や社会参加を促進する。	○		